

広野文芸欄

季題 当季雑詠

広野町臯月句会

春うらゝクロワッサンを焦しけり
宮下 純子

春風に童謡乗せて広野駅
小雨降る桜並木の街静か

西山 子

一瞬に花人と成る花の下
連翹の膨らんで来る花見山
朝寝して俗世の音の消えゆきぬ

遠藤健太郎

厨ごとに老の一役田植どき
堰提を若鮎跳ねる光りかな
語らいて明け易き夜忘れいし

悟 峯

花の雲の上に沖ゆく舟があり
つばめ来て朝一番の話し声
たんぽゝを家猫よけて通りけり

塩 史子

亡き母にきく里山の蔵とり
捨てきれず又しまい込む更衣
藤の花抱えて笑顔の夫婦づれ



阿部 真生

一面に土筆の天下すて畑
好物のせり摘む妻を見つけたり
陽が差して桜の開花せかす樹々

酒井 津祢

友と居て思い出語る花の下
木蓮や産土に立つ幟旗
花筏しばし岸辺をたゞよひて

●俳句会 会員募集！●

俳句会は毎月1回、先生である行行子
よりご指導いただいて活動しています。
入会ご希望の方は「俳句会 遠藤健太郎
☎ 2712412」まで

広野町二ツ沼 総合公園直売所

広野町二ツ沼総合公園直売所利用組合員紹介が第10回（先月号）をもちまして終了いたしました。今月号は地産地消を積極的に進める目的で広野小学校の給食にたけのことぶきを活用した取り組みを紹介いたします。

学校給食に地元食材活用

平成20年5月13日（火）、16日（金）広野町学校給食共同調理場では、地元食材を活用して、地産地消を積極的に進める目的で、地元で採れたたけのことぶきを利用した献立の給食が出されました。

広野町学校給食共同調理場は、町の幼稚園・小学校・中学校の子供たちの食の安全・安心を確保するため、広野町二ツ沼総合公園直売所利用組合に働きかけ5月の献立から取り組み始めました。今回の献立は、「わかたけ汁」と「ぶきの油いため」でした。今後、同調理場では地元産地野菜を積極的に活用していく予定です。



赤津由紀子 学校栄養教諭が給食の時間に食材の言われと生産者の顔写真入りランチタイムニュースを添えて子供たちに地元食材の紹介をします。



前日注文を受けた広野町二ツ沼総合公園直売所利用組合員が食材を届けます。

広野小学校5年生 総合学習（農業体験）

平成20年4月15日（火）広野小学校5年生56名が有限会社フロンティアひろの（上浅見川）の育苗センターにおいて水稻の種まき作業を体験しました。5月22日（木）には、成長した苗で田植え体験を行いました。

4月にまいた種が鮮やかな緑色の苗に成長したことに児童は喜びを感じ、田植えを一生懸命に楽しく行っている様子でした。広野小学校5年生による農業体験は総合学習の一環として日本の食糧生産を担う農業を体験し、日本独自の食文化について考え、自分たちの食文化を見つめ直すことを目的に行っております。



フロンティアひろの代表取締役 芳賀吉幸さんから作業の進め方、播種後の管理、田植え時期等の指導を受ける。



子供たちは、催芽された水稻もち米の種モミを床土を敷き詰めた12箱の苗箱にそれぞれ手蒔きしました。



一つひとつ丁寧に苗を植えていきます。



全員で協力して苗を植えました。